

は し が き

高度成長開始期の1958（昭和33）年4月に開設された本研究所は、今日まで産業界・行政界・地域社会との連携を基軸に置いた総合的な研究機関として「社会に貢献する研究所」を指向した事業を展開してまいりました。本研究所の研究活動は研究班体制を基本としておりますが、各研究班は学部の壁を超えた学際的な編成を取り、また学外からの委嘱研究員の方々にも加わっていただき、2年の研究期間を基本に意欲的な研究を続けてまいりました。各研究班の研究成果は『研究双書』や『調査と資料』として公刊されるだけでなく、広く社会に還元するために、年1回の「産業セミナー」を開催しております。また、それとは別に、学内外より著名な研究者や実務家をお招きして年数回の「公開講座」を開催しております。

「産業セミナー」は1962（昭和37）年に始められ、以来大阪商工会議所、大阪市工業会連合会、大阪市産業経営協会、株式会社りそな銀行からのご後援を得て継続してまいりましたが、1980（昭和55）年より開始しました「公開講座」とあわせて、多くの方々にご協力・ご参加いただいております。日頃から本研究所をご支援いただいている皆様、公開行事にご参加いただいた皆様、ならびにお忙しいなかご講演をいただいた講師の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、2022年度は「関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班」、「自助・共助研究班」、「エキシビションとツーリズム研究班」、「コンピュータ化によるパラダイム変化研究班」、「合意形成と制度研究班」および「近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班」の6つの研究班を組織して意欲的な研究を進めつつ、第250回から第255回までの6回の「産業セミナー」を開催いたしました。また今年度の「公開講座」は、第218回に神戸学院大学経済学部教授 岡部芳彦先生より、「ウクライナ・ロシア戦争の背景と今後の世界」というテーマで、第219回に関西大学商学部教授 徳永昌弘先生より、「スムータ《動乱》時代のロシア・ユーラシア日ロ経済協力の視点から」というテーマで、第220回に関西学院大学総合政策学部教授 宗前清貞先生より、「制度としての日本医療—優れた制度、脆弱な構造—」というテーマで、それぞれご講演いただきました。今回が34冊目となる今年度の『セミナー年報』は、これらの「産業セミナー」におけるご報告が収められており、総合的・学際的な研究機関にふさわしい多彩で興味深い内容となっております。執筆者の皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、本研究所の研究成果は『セミナー年報』のほかにも、『研究双書』や『調査と資料』として公刊しております。また、本研究所のウェブサイト（<https://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>）でも紹介しており、過年度の出版物の論文もご覧いただけます。本『セミナー年報』とともに、本研究所の活動成果から新しい知見と知的刺激を得ていただければ、深甚に存じます。

今後とも、本研究所に対して変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2023年3月

関西大学 経済・政治研究所
所長 宇 恵 勝 也

